小山町温水プール設置に関する意見交換会　議事録　2/27 開催

〇委員から

区分	委員からの意見	事務局等の回答
施設	・最初の計画では 20m の歩行専用プールがあったが、幼児プールに変更された。水泳の授業を横で利用するということだが、歩行用プールの運用はどのようになるか。	・前回の意見交換会で要望のあった幼児用プールを追加し、25m プールは歩行兼用とした。 ・水泳授業と一般利用の時間は分ける運用とする。 ・一般利用時は歩行専用レーンを設ける。
	・外デッキテラスが駐車場に面している。水着でデッキテラスに出る利用者がいるのか疑問。	・デッキテラスを外から見えないような設備とすることは可能であると考えている。 ・なお、当局の示す図面がすべてではなく事業者からの改善提案は可能となっている。
	・児童プールはどのように使うのか。	・授業や一般利用で小学校低学年までの児童を想定している。
制度	・現在の授業計画案を見ると小学生のみだが、中学生は利用しないのか。	・中学生は水泳授業を行っていない。 ・現在、教育委員会では部活動の地域移行を進めている。将来的に水泳を地域クラブ活動とするなど中学生も利用できるような制度を検討していく。
その他	・小学生は温水プールについてどう考えているか。意見を聞いてみたい。	・学校で小山町温水プールに関する話はしていないが、水泳に対する児童の興味は高い様子。
	・昨今、人件費や資材費の高騰がみられるが、予算を超えてしまう際にはどう考えるか。	・事業全体の上限額を定めており、その中で事業実施する。提案価格の低い業者が高得点となるような審査をしていく予定である。

小山町温水プール設置に関する意見交換会　議事録　2/27 開催

〇傍聴者から

区分	傍聴者からの意見	事務局等の回答
建設について	・温水プールを作ることが前提なのか。	・当局では作る前提で進めており、2 月議会に当初予算の要求をしている。引き続き予算、契約など必要に応じて議会の判断を仰ぐことになる。
	・計画する前に町民の意見を聞いていないのではないか。現在の小学校のプールの補修を考えたのか。	・現在のプールは建設から５０～６０年たっていて老朽化が激しく、補修をしてもお金がかかるので、一つに集約し、かつ町民も利用可能な施設にする案を考えた。
	・小中一貫校の案が出ている。例えば３つにした学校のプールを修繕することが考えられないか。	・プールは老朽化が激しく建替えが必要
	・町民アンケートは行わないのか。主権者である町民の意見を聞くべきではないか。	・地方自治の手続きに則り、主権者である町民から選出された議員で構成された議会で決定していく。
建設コスト	・稼働時間、稼働日数、費用については計算しているか。建設費の中でソーラーパネル、蓄電池の占める割合はいくらか。 ・上記が要求水準書に入っていなくては建設に設計が間に合わなくなるのではないか。	・基本設計レベルではそのような計算はしない。 ・PPA など民間資金で太陽光パネルを乗せる方法もあり、その場合にはソーラーパネルの設置費用はかからない。事業者からの提案によって決定すれ。 ・建設には間に合うと考えている。
	・利用を廃止される小学校プールの跡地利用や、撤去費用について検討したか。	・防火水槽で使用できるのではないか、などの意見もあるが、跡地利用については今後、あまりお金のかからない有効的な活用を考えたい。

小山町温水プール設置に関する意見交換会　議事録　2/27 開催

建設 コスト	・利用者数の予測が甘く、多額の維持管理費も必要となる。防災等必要な予算もあるので、プールの建設はやめたほうがよい。	・限られた予算を防災を含め必要なことに効果的に配分していく。御意見は承った。
水泳授業	・小学校の授業計画を見ると現在と同じ夏季期間のみの計画となっている。小学生の授業で真夏に温水プールが必要なのか。	・夏でも天候の影響で計画どおりに授業を実施できていない現状がある。 ・「温水プール」というとお湯を想像されると思うが、「一定の水温のプール」と認識していただきたい。夏は水温が高いのでエネルギーはそれほど使わない。 ・水泳授業の計画については、まだ利用を始めていないので現在のスケジュールとほぼ同じ期間で設定した。学校側が利用に慣れてきたら冬季も利用するなど時期が変わっていくことはあり得る。
	・プール授業が夏季に偏りすぎではないか。平準化が必要では。	・現時点の案を示している。実際の計画はそれぞれの学校の事情も考慮して立てていきたい。
施設	・歩行用レーン利用者の安全を確保する必要があると思う。	・選定委員会において検討する。
	・夏季は小学生よりも町民最優先で使えるようにしたほうがよいのではないか。	・学校側が利用に慣れてきたら行事の少ない時期にプール授業を入れるということは考えられる。

事業者選定	・プロポーザル方式の場合、一社だけの高い見積が出てきたら決まってしまう。また、材料や品質を落とされる懸念があるのではないか。	・予算の範囲内で民間のノウハウを活用したよい施設をつくるため、プロポーザル方式を採用した。 ・材料や品質を確保するために「要求水準書」を示している。
	・事業者募集については、ＨＰだけでなく業界紙など広くＰＲすべき。募集期間ももっと長期間にすべきではないか。	・検討する。
	・契約手続きが適正に行われているか確認したい。文書を出すので回答を求める	・承知した。